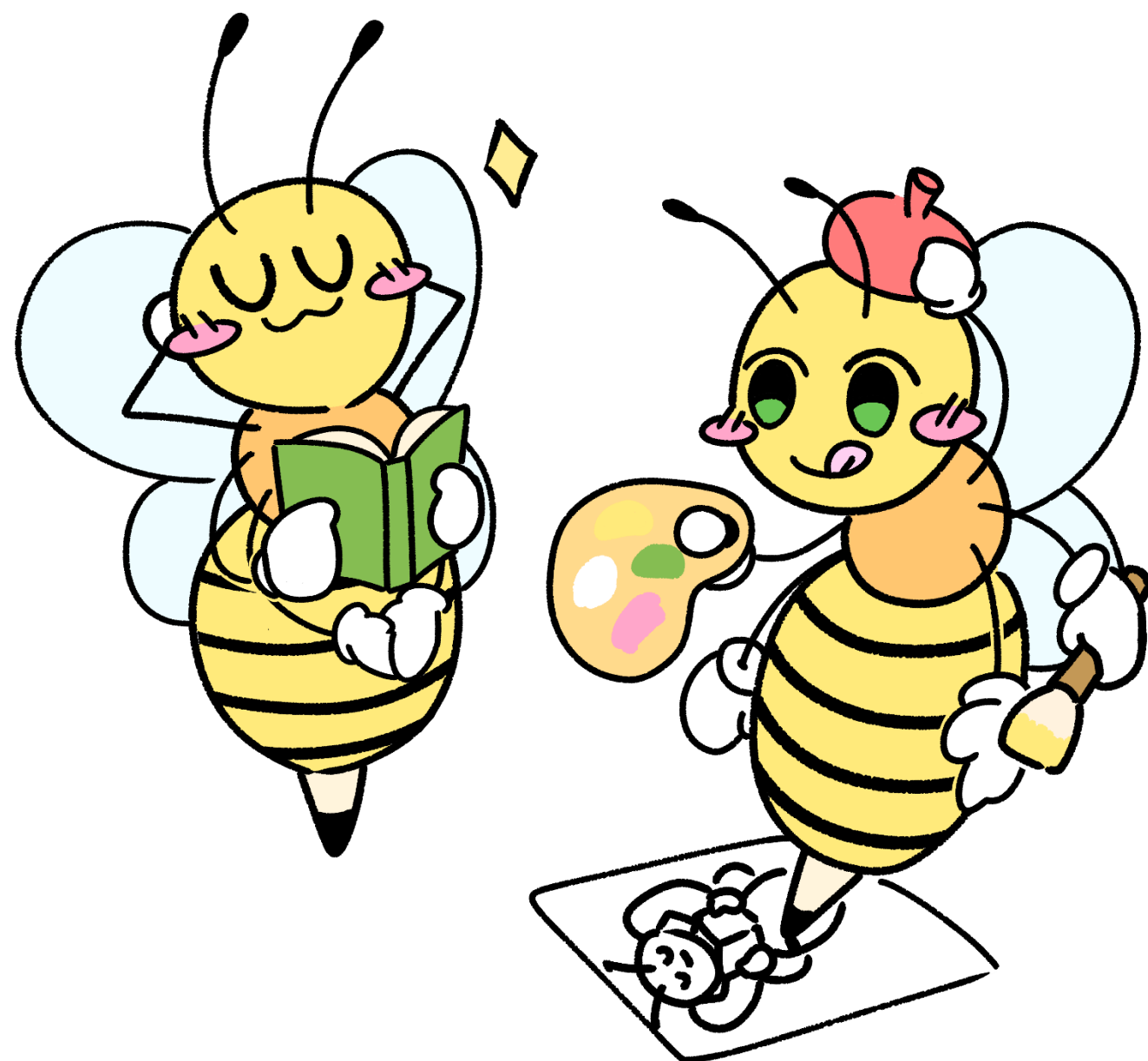


利用者サービス・学修支援 ～東京学芸大学の取り組み～

東京学芸大学
総務部学術情報課
利用者サービス係
宗田 友香





附属図書館キャラクター
まなぶんぶん

目次

1. 自己紹介
2. 東京学芸大学について
3. 東京学芸大学附属図書館
について
4. 利用者サービス・学修支
援とは
5. 東京学芸大学附属図書館
の取り組み

自己紹介

秋田大学附属図書館

- ・ 2013年10月～2017年3月 秋田大学 図書館・情報推進課
利用者サービス担当 / 学術企画担当

3年半で、カウンター対応・ILL・リポジトリ・
館内システム管理・セミナー講師などを担当

東京学芸大学附属図書館

- ・ 2017年4月～2023年3月 東京学芸大学 総務部 学術情報課
学術リソース管理係（旧 図書情報係）
- ・ 2023年4月～ 東京学芸大学 総務部 学術情報課
利用者サービス係
→2024年4月～ 同係主任

図書の発注・目録
に関する業務を担当

カウンター業務全般・
学習サポート担当

※ほかに、リテラシーWG、選書WG、アウトリーチWG、貴重書WG、MOL (https://note.com/mol_expg)

東京学芸大学について

Point

1学部（教育学部）、1専攻科、2研究科からなる教員養成系単科大学

学生数

5,360名 ※令和6年5月現在

（学部生4,399名、修士課程239名、教職大学院398名、博士課程170名、特別専攻科11名、その他143名）

教職員数

835名 ※令和5年5月現在

（大学教員278名、事務・技術系職員216名、附属学校運営参事1名、附属学校教員340名）

所在地

東京都小金井市

東京学芸大学附属図書館について

Point

開架図書冊数は約144,000冊。
蔵書は教育学を中心に幅広く揃っている。
総面積が8,025m²あり、座席数は720席。

フロア構成

3階	【個人学習フロア】 逐次刊行物（雑誌）
2階	【個人学習フロア】 図書（＋グループ学習室）
1階	【ラーニングコモンズ】 教科書、児童図書
書庫	図書、逐次刊行物（バックナンバー）、貴重図書

東京学芸大学附属図書館について



東京学芸大学附属図書館について

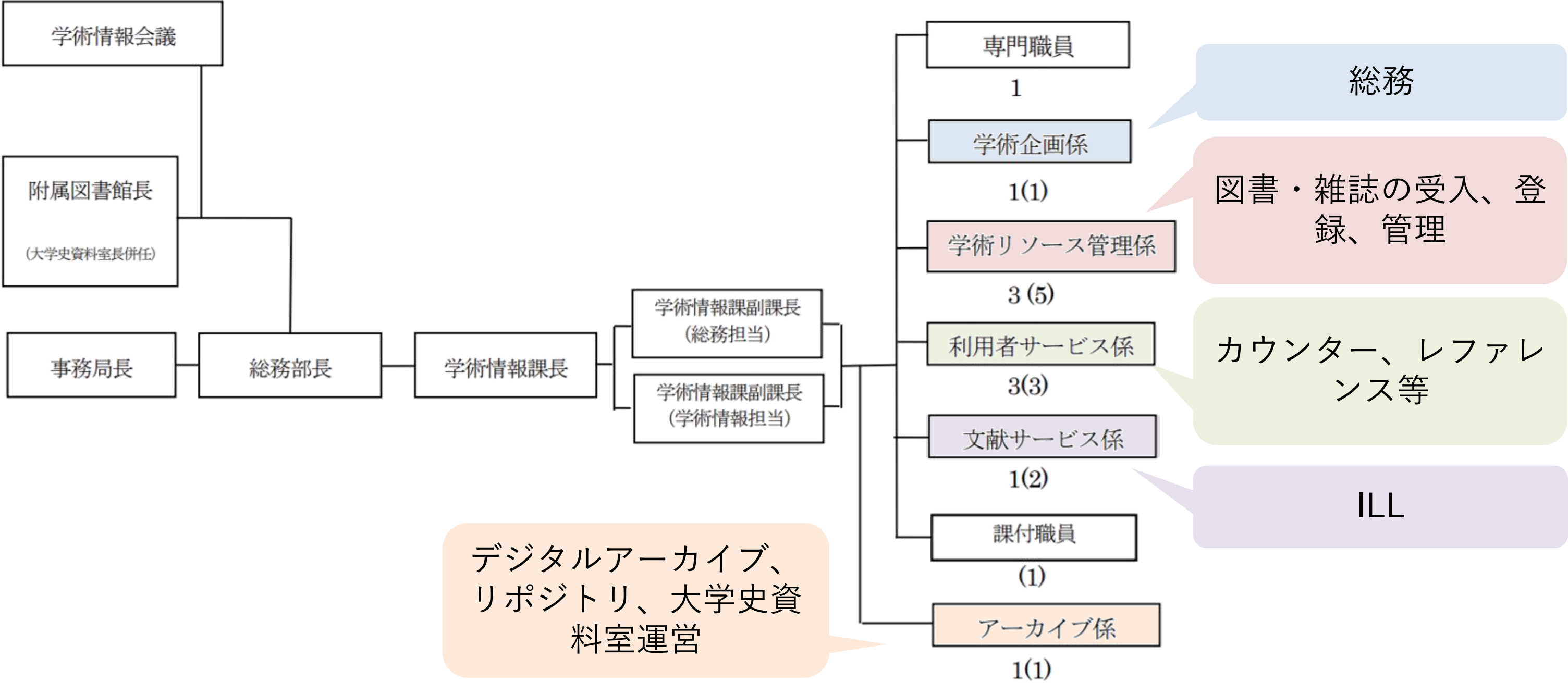


東京学芸大学附属図書館について



東京学芸大学附属図書館について

(令和6年7月1日現在)



利用者サービス・学修支援とは-1

…（前略）主たるサービスとしては，利用者の資料閲覧や貸出にかかわる業務，レファレンスサービス，対象者別に展開される諸サービス，利用者の資料利用に関連した集会活動や施設提供をあげることができる．また，アウトリーチサービスや図書館利用教育も，ここに含めて論議することが可能である．

"利用者サービス"，図書館情報学用語辞典 第5版，JapanKnowledge，
<https://japanknowledge.com>，（参照 2024-10-07）

利用者サービス・学修支援とは-2

…（前略）近年では，一連の授業科目・カリキュラムに掲げられた目標を，大学教育全体で効果的に達成するために**教育・学修支援**を進めることが強調されており，とくに情報リテラシー教育を進める上で，大学図書館の効果的活用と機能強化が喫緊の課題と認識されている．

"大学図書館"，図書館情報学用語辞典 第5版，JapanKnowledge，
<https://japanknowledge.com>，（参照 2024-10-07）

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー



東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナーのこれまで

2015年から入門セミナー内の1コマで図書館ガイダンスを実施

2015年～2019年

「図書館ガイダンス」（図書館利用案内＋館内ツアー）

2020年～2021年

新型コロナウイルス感染症拡大のため実施せず
動画コンテンツ等を提供

2022年～2022年

「図書館ガイダンス」（図書館利用案内＋館内ツアー）
＋「文献検索オリエンテーション」（希望クラスのみ）

内容見直し

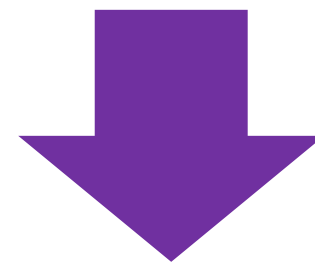
2023年～現在

「図書館ガイダンス」（図書館利用案内＋館内ツアー）
＋「文献検索セミナー」（希望クラスのみ）

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー見直しの背景

東京学芸大学の目指す「教員」「教育支援職」養成の取り組み

予測困難な時代に、自律的・主体的に物事に取り組むことのできる人材の育成を目指す。



2023年度より教育学部を再編し、新たな課程と新しいカリキュラムへ

→“予測困難な時代となっている現状や、人間個人及び国際社会においても多様な価値観が存在する現状をふまえた改組“

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー見直しの背景

小中高の学習環境の変化とデジタル化

2019年にGIGAスクール構想が閣議決定。

今後、学校教育に情報機器が組み込まれていた学生が入学してくる。

（それ以前から、急速なデジタル化により学習環境は変化していた）

- ・オンライン授業
- ・GIGAスクール構想
- ・ICT活用
- ・AIの活用
- ・
- ・
- ・



進学



彼らが初年次に受けるべきリテラシー教育は十数年前と同じ？

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー改訂の目的

東京学芸大学の目指す「教員」「教育支援職」養成の取り組み

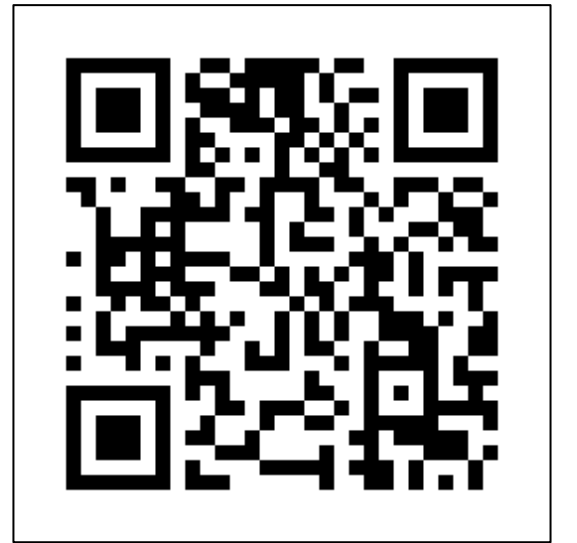
学生が、学校現場で対応できる情報活用能力を身に着ける。
また、大学図書館での情報活用経験を積み重ね、図書館活用の重要性を理解し、学校現場で学校図書館を活用できる人材を育成する。

小中高の学習環境の変化とデジタル化

小中高から情報機器に慣れ親しんだ学生向けの情報リテラシー教育を行う。
具体的には、レポート作成やその他発信の際の著作物利用法を身に着ける。
オンライン検索以外の情報探索方法を身に着ける。

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー改訂のポイント

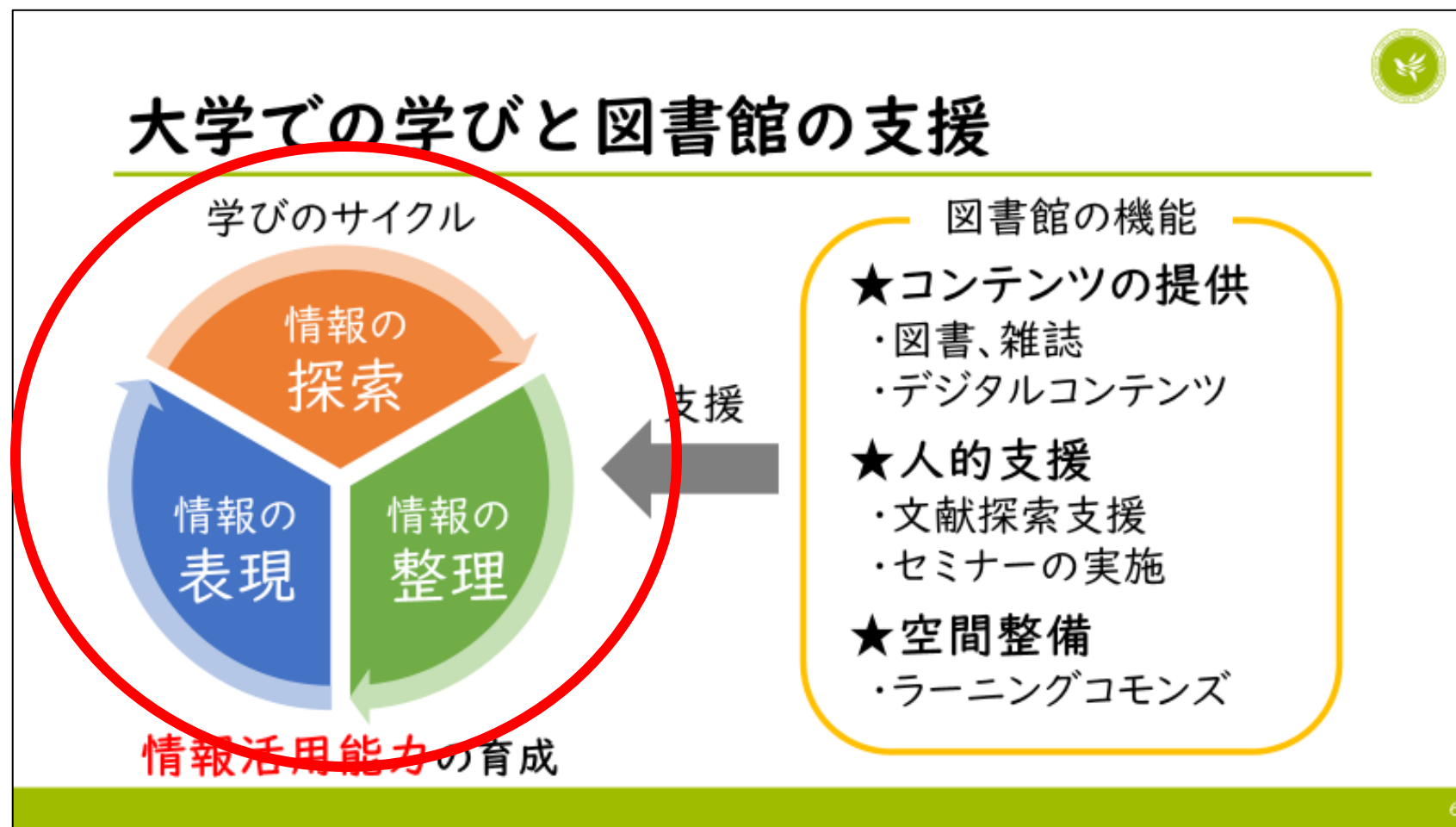
1. 学びのサイクルを意識した説明の流れに変更
2. 学校図書館と大学図書館の接続についての説明を追加
3. 著作物の利用についての説明を追加
4. 文献検索セミナーで、実際に図書を取りに行く実習を追加



学習・研究支援＞
講習会＞2023年度の資料

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー改訂のポイント

1. 学びのサイクルを意識した説明の流れに変更



①情報の探索

蔵書検索、電子資料の検索、データベース等の情報探索方法と、図書の借り方、返し方の説明

②情報の整理

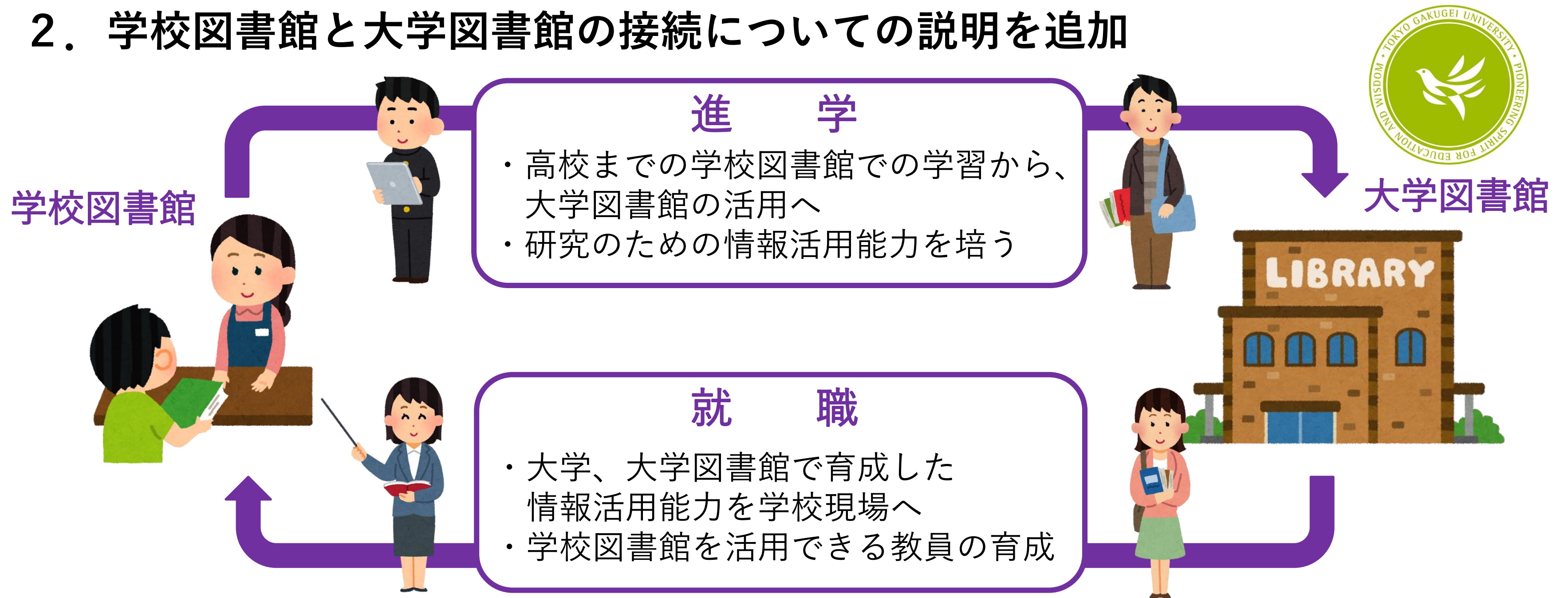
情報を整理するための「場所」としてラーニングコモンズ等の紹介、その他人的支援の説明

③情報の表現

情報の表現、発信を行う際の注意点として、著作権法の知識を提供

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー改訂のポイント

2. 学校図書館と大学図書館の接続についての説明を追加



東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー改訂のポイント

3. 著作物の利用についての説明を追加

大学生活の中の著作権法

(1) 図書館内で資料をコピーする時 …著作権法第31条

(2) レポート・論文を書く時 …著作権法第32条

(3) 授業で著作物を利用する時 …著作権法第35条

参考: 著作物が自由に使える場合 (文化庁)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

東京学芸大学の学部一年生

= 図書館の利用者

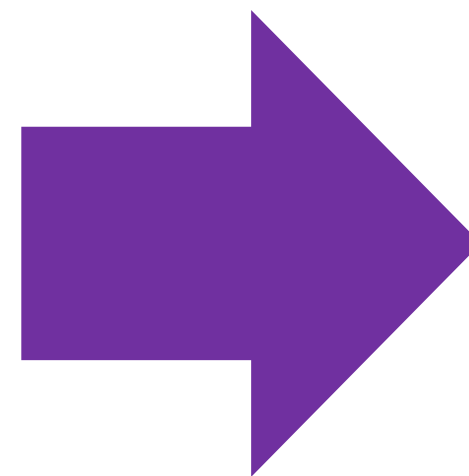
= 大学生

= 未来の学校教員: 授業における著作物の利用
についての理解の必要性。

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー改訂のポイント

4. 文献検索セミナーで、実際に図書を取りに行く実習を追加

データベース検索の説明に加え、実際に本棚に取りに行ってもらうことで、書架を見る行為（ブラウジング）の説明も行った。



東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナー改訂後の反応

DBの利用方法など、知らない
ことが多かった。
論文作成の際、図書館を活用し
ていきたい。

館内ツアーで
書庫、3Fに
行きたかった…

自分のパソコンでも
図書館の本を調べられる
なんて初耳！

本の探し方がわからず
借りるのをあきらめていた
が、探し方が分かった！

学校図書館と比べて
大学図書館は
規模も中身も違った！

インターネット上の情報
源の信頼性・使い分けに
ついて説明してほしい。

著作権についても
取り上げていただいた
ところがよかった。

大学教育と附属図書館について
説明し、図書館の存在意義を示
してもらった点が良かった。

教員にとっても
学びのある内容だった！

書架に本を探しに行く実習が
実践的で、学生にとって分か
りやすかったように思う。

新入生

教員

東京学芸大学附属図書館の取り組み 入門セミナーまとめ



学習・研究支援＞講習会
＞2024年度の資料

その後…

- ・ 2023年度の反応・反省などをもとに、2024年度は内容の改訂を行い、実施。
→館内ツアーに書庫見学を追加、文献検索セミナーで情報源の見分け方の説明の追加
 - ・ 2024年度（現在）、春学期の実施結果をもとに2025年度に向けて改訂中
- ・ 小中高の「学習指導要領」（※文部科学省が定めているカリキュラムの基準）は十年に一度改訂される
 - ・ ほとんどの大学生は四年で卒業する



求められる学修支援も変化

所属大学に戻ったら…

カリキュラム、中期目標・中期計画を確認してみよう

大学として目指す教育の水準はどこか。
大学としてどんな学生になって欲しいと考えているのか。
それに対して大学図書館ができることは？

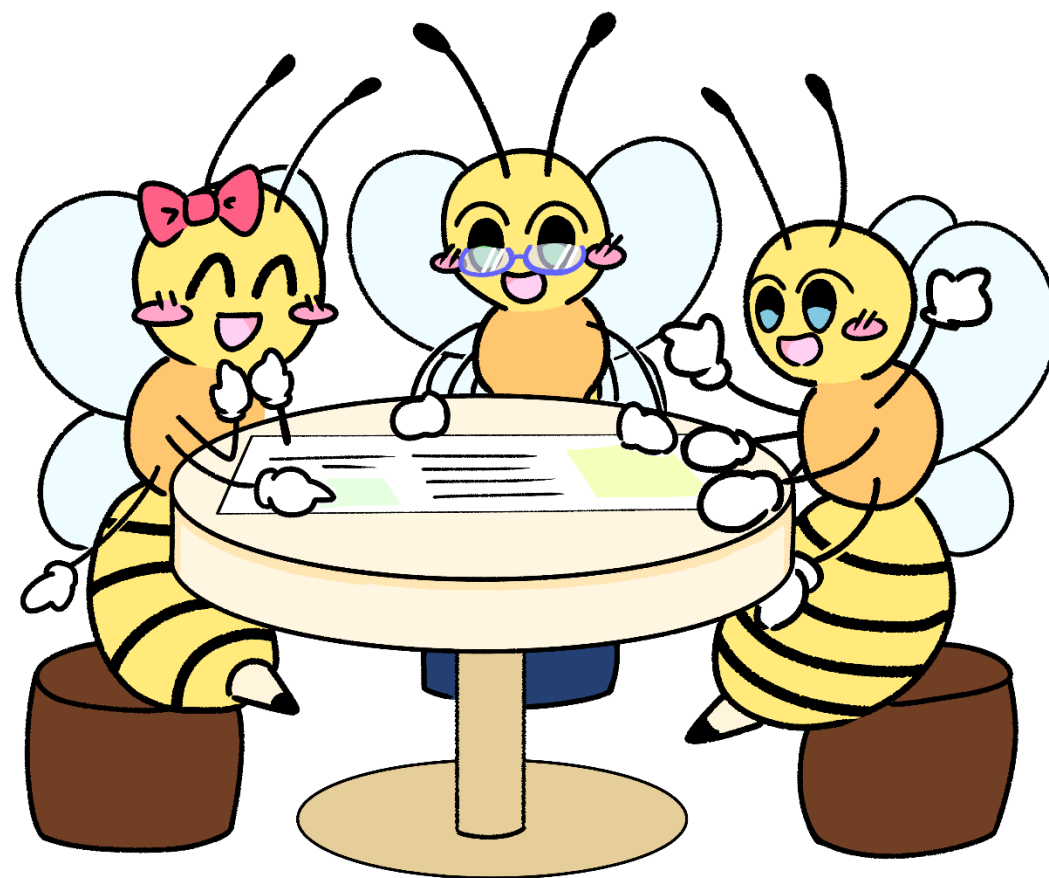
カリキュラムや中期目標・中期計画は、通常、大学の公式HPに掲載されているよ！

学生の様子を観察してみよう

彼らはどのような環境で学んできたか。
どのような情報を必要としているのか。
図書館からはどんな情報が与えられるのか。



東京学芸大学附属図書館の取り組み ～最近の事例～



東京学芸大学附属図書館の取り組み

事例紹介：デジタル教科書コーナー



2022年度から、ICTセンター（教育情報化研究チーム）と連携して、デジタル教科書が利用できるコーナーを設置した

授業・教育実習で扱われているはず
だが、利用は伸びない…



2024年度秋学期から、場所を移設して運用を開始
→デジタル教科書に、さらに気軽に触れやすく
→関連図書の展示で理解を深める

東京学芸大学附属図書館の取り組み 事例紹介：学芸本ガチャ！



2022年度から行われている取り組み。
当館の若手職員（利用者サービス係員）が考案し、恒例企画となっている。
現在はオンラインガチャ、リアルガチャの2段構えになっており、図書館でも、自宅でも楽しめる企画。

学芸本ガチャ！ <https://lib.u-gakugei.ac.jp/gacha>

2024年度新入生歓迎企画（リアルガチャ）

学芸大生が選んだ新入生に読んでほしい本のOPACのQRコードが中に入っている。春学期はのべ127回回された！

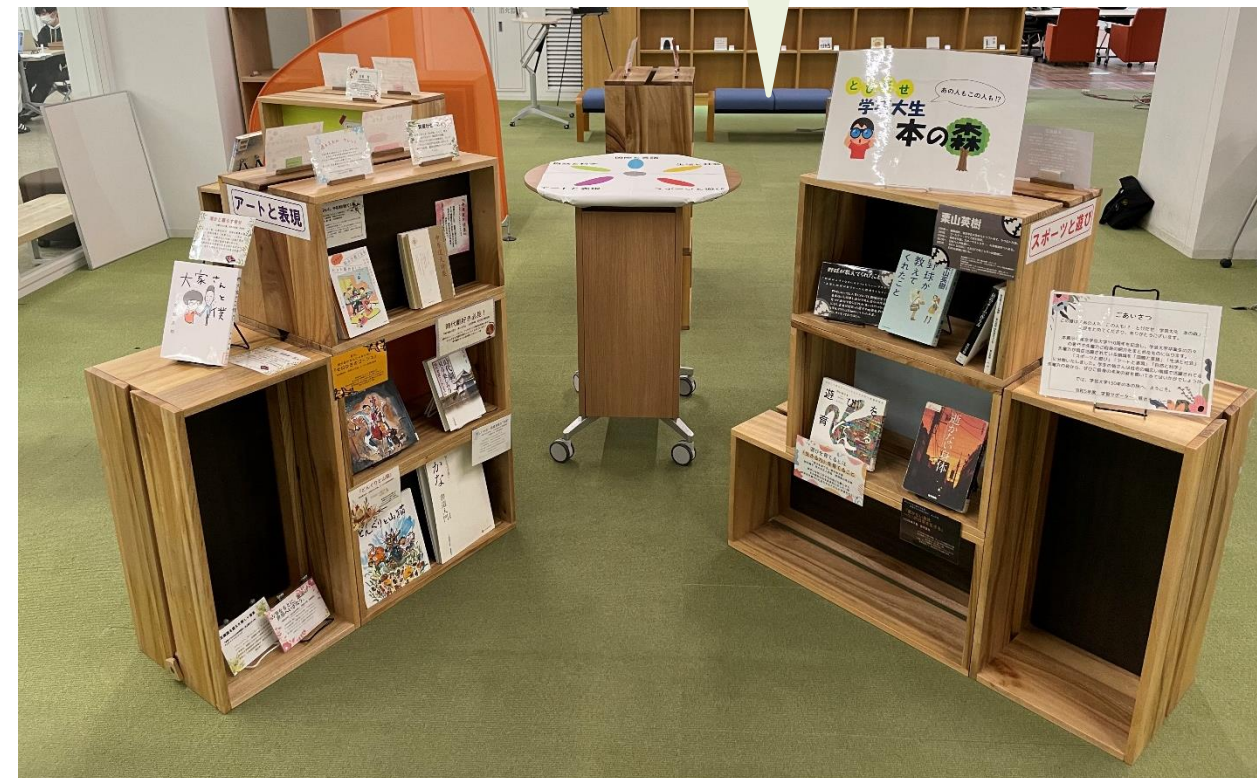
東京学芸大学附属図書館の取り組み 事例紹介：学習サポータ展示



謎の書籍X

書影を隠し、紹介コメントで本を選んでもらう。
紹介者は教職員・学習サポータ・学生などさまざま。

とびだせ 学芸大生本の森
東京学芸大学創基150周年に合わせ、本学出身者の著作を集める。
様々な分野で活躍する人の著書を集めたのがポイント。



なんじゃこりゃ!?展
装丁、判型、タイトルにインパクトのある図書の展示。
サポータが実際に館内を回って図書を集めた。

おわりに（フレッシュな皆さんへ）

- ・あなたの持つ視点は、大学図書館の業務に必ず活かせる！
最近まで大学生だった、他機関にいた、別職種だった…等
- ・大学という機関の一員であることを忘れずに
大学の理念・カリキュラムに合わせたサービスを行っていく

東京学芸大学附属図書館見学会（東京地区Open Library）
12/19（木）14:00-17:00（申込〆切：12/13（金））
ぜひお越しく下さい！



参考文献

- ①真家 美咲, 新見 槿子, 南雲 修司, 瀬川 結美, 高橋 菜奈子. 「大学の学びのサイクル」を意識した情報リテラシー教育. 大学図書館研究. 2024.6, vol.126
<https://doi.org/10.20722/jcul.2168>
- ②東北地区大学図書館協議会研修部会. 「大学図書館初任者マニュアル」第3版.
2023.3
https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/fresh_manual3.html